

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	歯科保健事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	健康づくりと生活習慣病予防・重症化予防	電話番号	0193-22-0179
施策②	幼少期からの正しい生活習慣の獲得	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	単独
事業期間	平成14年度～令和8年度		
事業の概要			
歯と口腔の健康づくりに取り組むことを目的として、歯科医師会・歯科衛生士会の協力のもと妊婦歯科健康診査、2歳児いい歯健康診査を実施する。幼少期からの歯と口腔の健康づくりを意識づけるため、1～12歳を対象としたフッ化物塗布事業、市内こども園等における歯科保健指導、フッ化物洗口導入支援事業を行う。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
令和3年度の3歳児歯科健診における当市のう歯有病率は12.1%で、岩手県の13.7%を下回ったものの、前年度までは県のう歯率を上回っている。う歯有病率の低下を目指すために、定期的な歯科健診やフッ化物による予防、意識啓発の機会が必要である。成人が永久歯を失う原因となる歯周病は、妊娠期にリスクが高くなるが、出産・子育てに備える時期であり、保険適用外の健診受診には経済的負担もある。また、全身疾患との関係について知識を得る場が少ない。	
目的	
口腔の健康は、食べる喜び、話す楽しみ、栄養状態の維持などに欠かせないものだが、乳幼児期から成人期・高齢期まで口腔の健康を保つためには、乳幼児期からの基本的な生活習慣の定着、適切な口腔機能の獲得が求められる。そのため、健診などによるう歯や歯周病の予防、知識の普及による口腔の健康づくり等各ライフステージに応じて支援し、生涯にわたって市民が健康に暮らすことができるようにする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦歯科健康診査 ・2歳児いい歯健康診査 ・フッ素塗布事業 ・フッ化物洗口導入支援事業 		
事業費		
R 6	R 7	R 8
1,222 千円	1,222 千円	1,222 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
フッ化物塗布事業は、関心のある家庭の任意参加であるため、口腔の健康意識の向上が必要な家庭に対する効果的なアプローチ方法を検討すること。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	がん検診事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	健康づくりと生活習慣病予防・重症化予防	電話番号	0193-22-0179
施策②	働き盛り世代（青年期・壮年期）の生活習慣予防と重 症化予防	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	昭和57年度～令和8年度		
事業の概要			
がんによる壮年期の死亡率を減少させるとともに、健康寿命の延伸を目的として、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、肺がん検診を実施する。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
がんは日本人の死因の第1位を占め、30代から死因のトップとなっている。がんの種類でみると、肺がんや乳がん、大腸がんなど欧米で多くみられたがんが近年増加している。岩手県では特に大腸がんによる死亡率が他県と比較し高い。
目的
壮年期を対象にがん検診受診率の向上を図り、さらにがんの早期発見・早期治療につなげることで、死亡率の減少や健康寿命の延伸を目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、肺がん検診を集団検診方式で実施。 企業におけるがん検診の実態調査を行なう。 		
事業費		
R 6	R 7	R 8
53,092 千円	53,092 千円	53,092 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
他の健診等との同日開催や通知方法の工夫などの各取組の効果検証を行い、更なる受診率向上に努めること。また、他事業と併せて、企業等で実施している健診等の状況を把握し、未受診となっているターゲットに適切なアプローチを行うこと。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	みんなの健康づくり応援事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	健康づくりと生活習慣病予防・重症化予防	電話番号	22-0179
施策②	働き盛り世代（青年期・壮年期）の生活習慣予防と重 症化予防	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和8年度		
事業の概要			
18歳以上（高校生を除く）で市内に住所または勤務地を有する方を対象に、個人の健康づくり活動に対してインセンティブを付与する取組を行い、健康意識の高揚や健康増進を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
市町村別平均寿命（令和2年厚生労働省）は男性が県内ワースト2位、女性は県内ワースト3位であるとともに、三大疾病年齢調整死亡率（H29-R3）は県内14市においていずれもワースト上位に位置しており、脳卒中においてはワースト1位の状態が続いている。 また、特定健診・特定保健指導結果による生活習慣の県内14市の順位（40-74歳、H29）は男女ともワースト上位にあり、誰もが生き活きと活動するまちにはなっていない。	
目的	
市民一人一人が健康に対する意識を持ち、市集団健診の受診やウォーキングをはじめとした身体活動、運動といった健康づくり活動に継続して取り組むことで行動変容を促し、生活習慣病の予防、さらには市民の健康寿命の延伸へつなげる。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
アプリや紙カードに、ウォークラリー、各種健診受診等の健康づくり活動に応じたポイントを貯め、特典と交換できる健康チャレンジポイント事業を実施。令和6年度からは、LINE版に代わって「おさんぽ釜石アプリ」を導入し、市スーパーアプリ「かまいしライフ」と連携することによりポイントの獲得や特典クーポンを取得できる制度に拡充する。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
2,471 千円	2,471 千円	2,471 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
当該事業の参加者拡大と、フォローアップ調査等効果検証を行うこと。また、令和6年度からの新たな取組である地域企業との連携は、庁内関係課とも連携を取り実効性のある内容とすること。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	健康寿命日本一はじめの一步プロジェクト事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	健康づくりと生活習慣病予防・重症化予防	電話番号	0193-22-0179
施策②	働き盛り世代（青年期・壮年期）の生活習慣予防と重 症化予防	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和6年度		
事業の概要			
働き世代の健康意識の向上と生活習慣の改善を図るため、健康経営の視点をもった市独自の認定制度を継続する。また、運動習慣のない働き世代に対して、運動習慣の定着を目指し、市内スポーツジムなどと連携した個人及び企業へのアプローチを実施する。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
平均寿命が国と比べても低く、県内でも下位であり、がん・脳血管疾患の死亡率も高い状況にある。食事や運動習慣の見直しが必要と感じるも、仕事などの忙しさのため改善のための一歩が踏み出せない状況と推測する。	
目的	
働き世代の生活習慣の見直しや改善を行うことで、健康に対する行動変容を促し健康寿命の延伸を目的とする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
事業所から健康に対する認識や課題について伺い、スポーツクラブのトレーナー、保健師、管理栄養士が事業所を訪問して、運動の実践、保健講話を通じて健康へ向けた一歩を踏み出すきっかけづくりを行う。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
6,237 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
交付金を最大限活用しつつ市内事業所と連携体制を構築するとともに、交付金終了後を見据え、若年層へのアプローチを継続できる持続可能な体制を検討すること。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	がん患者医療用補正具購入費助成金		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	健康づくりと生活習慣病予防・重症化予防	電話番号	22-0179
施策②	生きることの包括的支援	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和8年度		
事業の概要			
がんになっても安心して暮らせる社会の構築を目的として、ウィッグ購入費の一部補助を行なう。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>がんと診断を受けると、治療のために就労に制限がかかり、ひどい場合には退職や廃業を迫られる場合もある。そのため、離職防止や再就職などの支援の充実が求められている。治療をしながら社会参加するための一助となるために、ウィッグ購入費の一部補助を行っており、仕事との両立ができる社会の構築を目指している。</p>	
目的	
<p>がん患者が治療と仕事を両立しながら、安心して療養生活を送ることができる社会の構築を図る。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者を対象とする患者会やサロンから情報収集する。 ・ウィッグを使用するがん患者に対して、その費用の一部を補助する。 		
事業費		
R 6	R 7	R 8
100 千円	100 千円	100 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
<p>事業実施3年で事業の再評価を実施するため、当該補助がニーズに合致していたか、高い効果が得られるかなどを見る化し、事業の方向性を検討しておくこと。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	医師育成給付金事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	保健福祉・医療体制の充実	電話番号	0193-22-0179
施策②	地域医療の充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	新規
4つの柱	地域医療の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和8年度		
事業の概要			
<p>当市に縁のある医師を育成するため、市内から医科大学や医学部へ進学する者に対して入学準備にかかる費用を給付し、学生とその保護者の経済的負担を軽減する。また、学生に対して、当市の各種制度や地域医療の状況等を情報発信し、在学中からのつながりを継続することで、将来的に釜石医療圏で就業する医師数の増加を目指す。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立釜石病院における普通分娩の取扱休止や小児科の常勤医の不在など医師不足、診療科の偏在に不安を感じている。 ・ 「医師の働き方改革」により医師の労働時間の短縮が求められており、医師不足がより深刻化する恐れがある。 ・ 全県的に医師及び看護師などの医療職が不足しており、将来の地域医療を維持できるか不安がある。 	
目的	
<p>当市に縁のある医師に、将来的に釜石医療圏で就業していただくことで、地域医療を維持し、市民が安心して暮らせるまちづくりを進める。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医科大学や医学部への入学にあたり、準備費用を給付する ・ 給付を受けた学生に対し、当市の各種制度や地域医療の情報発信を行うほか、医師確保施策の立案に向けたアンケート調査や医師を志す者が増えるきっかけとするための小中学生向けメッセージの作成について協力を依頼する 		
事業費		
R 6	R 7	R 8
0 千円	1,000 千円	1,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
<p>当市の医師確保対策として将来を見据えた事業であることから必要性は十分あるが、実施方法について検証を行いながら実施すること。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	救急医療対策事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	保健福祉・医療体制の充実	電話番号	0193-22-0179
施策②	地域医療の充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	地域医療の充実	補助・単独	単独
事業期間	昭和56年度～令和8年度		
事業の概要			
地域にある限られた医療資源の中で、中核病院の負荷を軽減する等、地域で連携して救急医療体制を維持することを目的として、医師会、歯科医師会、民間病院、大槌町と連携し、医科・歯科診療所の休日当番医制を確保するとともに、民間病院を補助しながら輪番制で救急医療体制の維持を図る。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
罹患率の高い高齢者の人口に占める割合が増加しており、市民の命を守るためには、従来にも増して救急医療体制を維持することは当保健医療圏の重要課題である。	
目的	
全県的に医師や医療スタッフが不足する中、地域にある限られた医療資源の中で、中核病院の負荷を軽減するなど地域で連携して救急医療体制を維持する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
医師会、歯科医師会、民間病院、大槌町と連携し、医科・歯科診療所の休日当番医制の確保、小児の救急時における保護者の対応力の向上を図り小児科医不足等の状況に対応、県立釜石病院だけでは救急医療に対応できないことから、大槌町と連携し民間病院を補助し、輪番制で救急医療体制を維持する。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
20,203 千円	20,198 千円	20,198 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
費用対効果を勘案し、可能な限り持続可能な体制となるよう医師会等と十分な検討を行うこと。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	地域医療連携推進事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	保健福祉・医療体制の充実	電話番号	0193-22-0179
施策②	地域医療の充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	地域医療の充実	補助・単独	補助
事業期間	平成20年度～令和8年度		
事業の概要			
地域の限られた医療資源を有効に且つ効果的に活用し、市民が地域で安心して暮らせるまちづくりを目的として、医師会と連携し、急性期病院を支えるため、必要に応じて応援医師を派遣するほか、これまで医師の派遣や看護学部奨学金（釜石枠）制度を創設していただいている金沢医科大学に対し、引き続き当市の医療資源の確保への連携協力を依頼する。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
地域の限られた医療資源の中で、市民が地域で安心して暮らせるまちづくりを進める必要がある。
目的
地域の限られた医療資源を有効にかつ効果的に活用し、市民が地域で安心して暮らせるまちづくりを実現する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
医師会と連携し急性期病院を支える応援医師の体制、圏域に医療資源を招へいする取り組み、市民への啓発、かまいし・おおつち医療情報ネットワークに対する支援など		
事業費		
R 6	R 7	R 8
1,285 千円	1,285 千円	1,285 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
全国的な医療人材不足の中、現在の医師確保のアプローチ方法が効果的か検証を行い、地域医療体制の維持・充実に最大限努めること。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	医師確保対策事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	保健福祉・医療体制の充実	電話番号	0193-22-0179
施策②	地域医療の充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	地域医療の充実	補助・単独	単独
事業期間	平成31年度～令和8年度		
事業の概要			
移住・定住イベントの開催に合わせ、在京の方々に診療所等開設資金支援補助金チラシを配布して周知を図るほか、高校の教員に奨学金制度について情報提供し、学生の進路決定の際の資料としていただく。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
当市はもとより、全県的に医師及び看護師などの医療職が不足しており、圏域内で対応できない診療科があるほか、将来の地域医療を維持できるか不安がある。
目的
釜石保健医療圏における医療資源を確保することで、切れ目のない地域医療を提供する体制を構築し、市民が安心して暮らせるまちづくりを進める。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
・市内で診療所等を開設する場合に開設資金を支援することで、当圏域内への診療所の新規開設を誘発		
事業費		
R 6	R 7	R 8
0 千円	30,000 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
医師会等と連携し、市外の医師等の情報把握に努めるとともに、ニーズ調査等により適切な伴走を行える体制を構築すること。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	予防接種事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	保健福祉・医療体制の充実	電話番号	0193-22-0179
施策②	感染症対策の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	平成24年度～令和8年度		
事業の概要			
<p>予防接種法第5条に基づく定期予防接種により、同法第2条第2項及び第3項に定める疾病を予防することで公衆衛生の向上を図り、市民の健康保持に資するとともに、予防接種法において任意予防接種に分類される小児インフルエンザ、おたふくかぜワクチンについて、市が接種費用を助成することで接種率の向上及び接種者の経済的負担の軽減を図るもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>各種予防接種の実施により、感染症のまん延防止に取り組んでいる。予防接種法において任意予防接種に分類される小児インフルエンザ、おたふくかぜワクチンについては、市が接種費用を助成することで接種率の向上及び接種者（保護者）の経済的負担の軽減を図っている。</p>	
目的	
<p>予防接種法第5条に基づく定期の予防接種および同法第2条第2項及び第3項に定める疾病を予防することにより公衆衛生の向上を図り、市民の健康保持に資する。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>任意予防接種であるおたふくかぜワクチン、インフルエンザワクチンの予防接種を実施、接種費用を助成。感染症予防と対象者（保護者）の経済的負担の軽減。</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
7,445 千円	7,468 千円	7,468 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
<p>他市町村の状況等を鑑みつつ、医師会等との連携により切れ目のない支援を継続すること。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	医療費給付事業（重度・身障3級）		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	市民課
施策①	保健福祉・医療体制の充実	電話番号	0193-27-8491
施策②	保健福祉サービスの充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和8年度		
事業の概要			
重度心身障がい者及び身体障がい者（3級）の健康の保持と経済的負担の軽減を図ることを目的に、保険診療の医療費一部負担金を助成し、医療を受けやすい環境を提供するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
障がい者は、健常者と比較し医療受診頻度も高く、病院医療費等の一部負担金支払いが経済的な負担となっている。	
目的	
医療費の一部を給付し、適正な医療受診と心身の健康を保持することで、生活の安定と福祉の増進を図る。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
医療機関で支払った医療費（一部負担金）から診療報酬支払明細ごとに対象者の自己負担額を差し引いた額を給付する。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
92,014 千円	91,064 千円	91,064 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
他の事業等と併せて市の施策として広く PR すること。また、子どもの医療費の補助は、他市町村でも広く実施されていることから、県に対し、一律で負担するよう要望を継続すること。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	医療・福祉等人材確保対策事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	地域福祉課
施策①	保健福祉・医療体制の充実	電話番号	22-0177
施策②	保健福祉サービスの充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
4つの柱	地域医療の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和8年度		
事業の概要			
医療・福祉等人材の確保を推進するため、学生に対する奨学資金の貸し付けや返還額の一部に対する補助、また、市外からの転入者への奨励金等の交付をするもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>当市では、人口減少に加え、生産年齢人口の減少が進んでおり、市内の医療及び福祉の現場で働く人材は、不足している状況である。人材不足により、サービスの質的悪化等が懸念されることから、福祉人材の確保が急務となっている。</p> <p>なお、当市では、賃貸住宅の家賃水準が他市町村に比べ高くなっている現状を鑑み、住宅を賃借して当市へ就労する方の負担を減らし、就労しやすい環境を整える必要がある。</p>	
目的	
<p>市外に居住する医療・福祉人材に、当市への移住と医療・福祉現場への就労を促す。また、卒業後、市内の医療・福祉施設において、医療・福祉等従事者として働くことを希望する学生に対し、奨学資金の貸し付けを行うことにより、修学を容易にし、人材の確保を図る。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>①市外から賃借住宅へ移住し、市内の医療・福祉関係事業所に就労する方へ奨励金を交付する。</p> <p>②市内の事業において、資格に基づく業務に就労し、現在も奨学金の返済をしている方へ奨学金返還の一部に対して補助金を交付する。</p> <p>③医療・福祉等の資格取得を目指す学生を支援するため、無利子で奨学資金の貸し付けを行う。卒業後、免除対象とならなかった学生に対し、奨学金の償還処理を行う。</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
11,400 千円	10,440 千円	8,640 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
<p>奨学資金貸付については、着実に利用者が増加しており、高校生の地元就職率向上と福祉人材の確保が期待される。定住奨励金及び奨学金返還補助金については、引き続き関係課と新たなスキームの検討を行い、釜石市独自の強みが見える仕組みへ変更を行うこと。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	地域医療 DX 推進事業		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	保健福祉・医療体制の充実	電話番号	0193-22-0179
施策②	地域医療の充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	DXの推進	新規・継続	新規
4つの柱	地域医療の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和6年度		
事業の概要			
<p>医師不足に伴う診療科の偏在や地域公共交通網の縮小など、地域医療体制の確保が課題となっている中、誰でも安心して医療を受けられる地域を維持・構築するため、自宅等で診療を受けることができる「オンライン診療」の検討など、医療関係者及び住民の利便性向上に向け、医療のDXに関する理解を深めるもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・全県的に医師及び看護師などの医療職が不足しており、圏域内で対応できない診療科がある。 ・高齢化が進んでいるが、地域公共交通網の縮小により通院に係る移動の負担が大きい。 ・デジタルツールをつかいこなせないため、その恩恵を受けておらず、利便性を理解できていない人もいる。 ・「医師の働き方改革」により、医師の労働時間の短縮が求められている。 	
目的	
<p>限られた医療資源を有効に活用し、誰でも安心して医療を受けられるまちづくりに向けて、市民及び医療関係者の地域医療DX化に対する理解を深め、当市の地域医療DX推進に向けた検討の基盤を作る。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・「医療DX」について、広く市民に啓発するためのシンポジウム等の開催 ・医師や医療専門職を対象とした「医療DX」について理解を深めるための研修会等の開催 		
事業費		
R 6	R 7	R 8
500 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
<p>市ではDX推進について取り組んでいるが、DXの浸透には時間を要することから、実施内容、方法については今後検討しながら慎重に実施されたい。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	保健福祉センター維持管理費（ガス管更新修繕）		
政策	あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち/みんな で健康になれるまちづくり	担当課	健康推進課
施策①	保健福祉・医療体制の充実	電話番号	0193-22-0179
施策②	地域医療の充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	健康寿命日本一に向けて	新規・継続	新規
4つの柱	地域医療の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和6年度		
事業の概要			
釜石市保健福祉センターは、平成19年度に開所し、現在でも様々な用途に使用されているが、施設は昭和56年に建設された設備を修繕しつつ使用しており、老朽化が激しい。このため、保健・医療・福祉の拠点施設の機能維持を目的として、ガス管を修繕するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
当該施設は、経年劣化による老朽化が激しいが、医療施設等が使用しているため、施設の適切な維持修繕が必要である。	
目的	
適切な維持管理により、保健・医療・福祉の拠点施設の機能を維持することで、地域医療の充実の一端を担うことを目的とする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
ガス管更新修繕		
事業費		
R 6	R 7	R 8
11,849 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
適切な施設の維持管理に努め、特に、入院患者等への医療が中断されないよう留意すること。			